

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 外来診療におけるベッドサイド腹部超音波検査の有用性について』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 消化器内科 職位・氏名 講師・塩澤一恵

【試料・情報の利用目的】

外来診療中にベッドサイドで腹部超音波検査を施行した症例の診断結果を後方視的に検討します。この検討を行うことにより、ベッドサイド腹部超音波検査の診断能や、不適応な病態や疾患、検査上の注意点を明らかにできる可能性があります。

この検討で得られる成果は、外来診療における速やかな診断の向上につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: ベッドサイド超音波検査の結果、他の画像検査の結果 等

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2021年12月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

該当せず

【試料・情報の取得方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2018年7月～2021年9月までに東邦大学医療センター大橋病院消化器内科において、外来診療時にベッドサイド超音波検査が施行された方。

対象は 20 歳以上の方で、712 例となります。

方法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 塩澤一恵

役職: 講師

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年1月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。

その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科

職位・氏名 講師・塩澤一恵

電話 03-3468-1251 内線 7262